【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【公表番号】特表2006-505197(P2006-505197A)
【公表日】平成18年2月9日(2006.2.9)
【年通号数】公開・登録公報2006-006
【出願番号】特願2004-548639(P2004-548639)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｂ　17/00　　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　 1/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　17/00　　Ｈ
Ｈ０４Ｂ　 1/04　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成20年11月17日(2008.11.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
集積無線周波数信号レベル分析回路であって、
少なくとも一基準電圧を与えるように構成されている基準電源と、
前記少なくとも一基準電圧を受けるとともに、前記少なくとも一基準電圧に対応するＡＣ基準電圧を生成するように構成されているＤＣ／ＡＣ変換器と、
前記ＡＣ基準電圧及び検出される無線周波数信号を受信するとともに、基準エンベロープ信号と無線周波数エンベロープ信号を生成するように構成されているエンベロープディテクタと、
前記無線周波数エンベロープ信号と前記基準エンベロープ信号を受信するとともに、コンパレータ回路の比較結果を示す、コンパレータ出力信号を生成するように構成されているコンパレータ回路とを備えている、分析回路。
【請求項２】
前記基準電源が、直列接続の複数の抵抗器を備えている、請求項１記載の分析回路。
【請求項３】
前記基準電源が、特定の電圧レベルに対する上限と下限を決定する、少なくとも２つの基準電圧を与えるように構成されている、請求項１記載の分析回路。
【請求項４】
前記所定の電圧レベルを選択するように構成されている制御回路を更に備えている、請求項３記載の分析回路。
【請求項５】
前記基準電源に接続されるとともに、少なくとも一つの基準電圧を、前記ＤＣ／ＡＣ変換器へ選択的に供給することができるように配列されている、複数のスイッチを更に含む、請求項３記載の分析回路。
【請求項６】
前記基準電源が、複数の基準電圧を与えるように構成され、また、前記ＤＣ／ＡＣ変換器が、同一信号経路内に前記複数の基準電圧の各々を変換するように構成されている、請求項１記載の分析回路。

【請求項７】
前記エンベロープディテクタがＡＣ結合のソースフォロワを備えている、請求項１記載の分析回路。
【請求項８】
前記エンベロープディテクタが更に、積分コンデンサを備えている、請求項７記載の分析回路。
【請求項９】
前記エンベロープディテクタが第一検出部と第二検出部を備えており、前記第一検出部と前記第二検出部は実質的に同一であり、前記第一検出部が少なくとも一つのＡＣ基準電圧を受けるように接続されるとともに、前記第二検出部が、前記無線周波数信号を受信するように配列されている、請求項１記載の分析回路。
【請求項１０】
前記エンベロープディテクタが更に、前記エンベロープディテクタの出力をリセットするように構成されているスイッチエレメントを備えている、請求項１記載の分析回路。
【請求項１１】
前記コンパレータ回路は、オフセット補償コンパレータを備えている、請求項１記載の分析回路。